

# 令和7年度 関東ブロックDMAT訓練 実施説明会

確定版

日時：12月24日（水曜日）10時00分から12時00分（WEB）

©HDMG2004 2025

## 訓練概要 その1

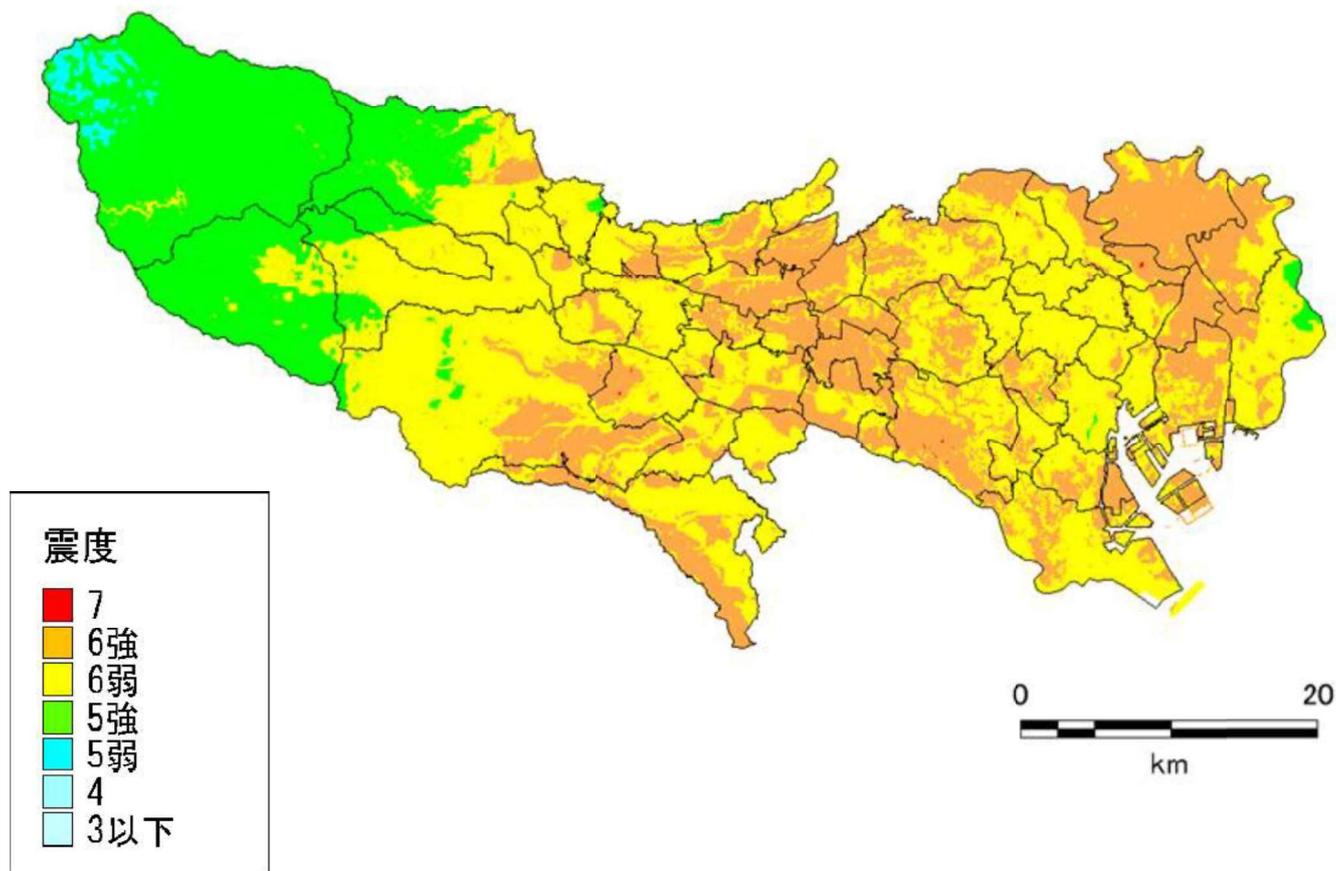
### 第1回関東ブロックDMAT連絡協議会で共有済み

**目的：**多摩東部直下地震を想定した、関東ブロックの各都県DMATや関係機関との連携による、病院支援及び医療搬送等の訓練を実施し、大規模地震時における医療救護活動の充実強化を図る。

**目標：**

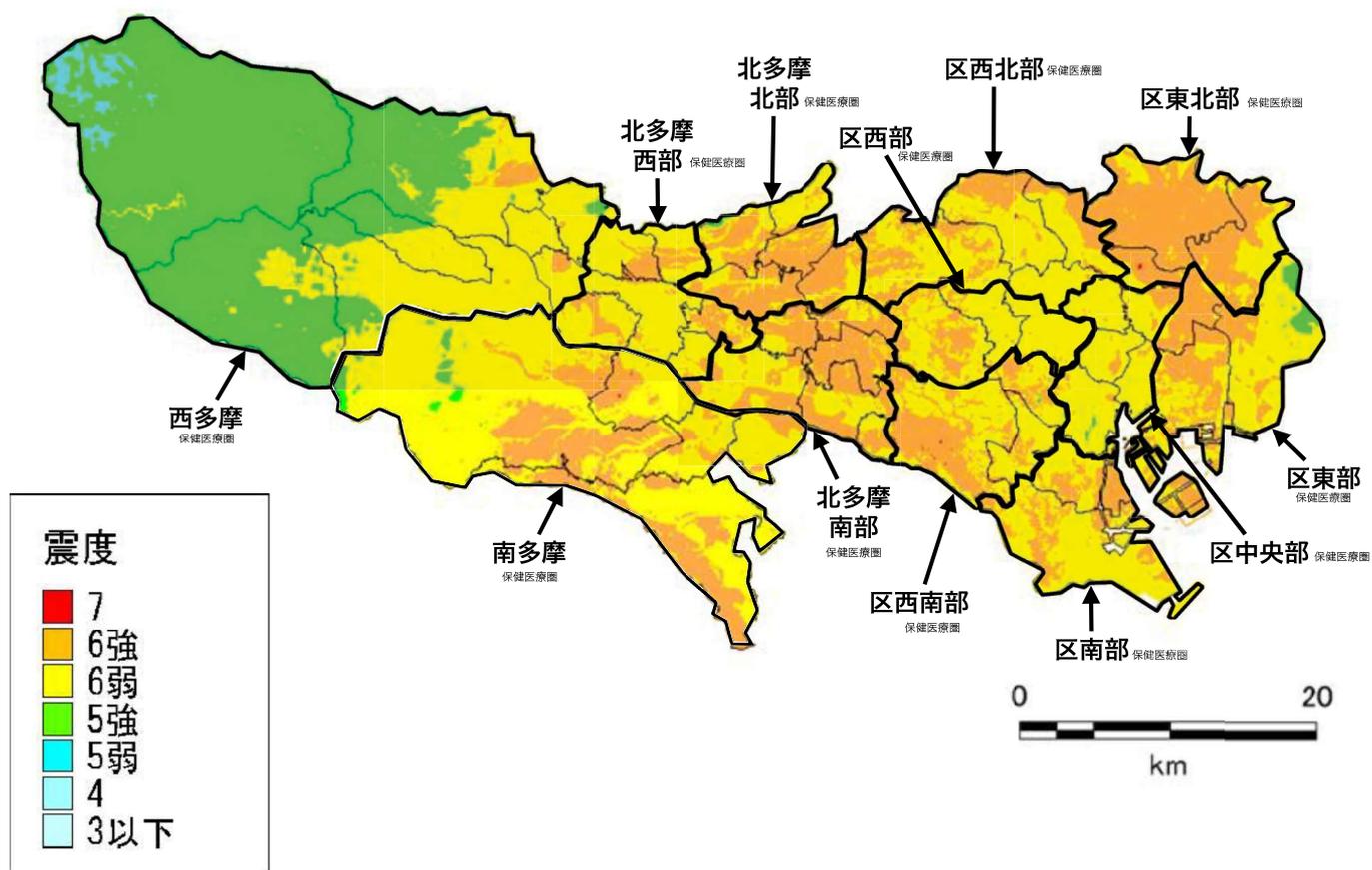
1. **二次医療圏**の活動方針の決定・共有・調整（医療対策拠点）
2. **被災病院**の現状分析・支援計画の策定・提出（DMAT）
3. **透析医療**の継続（透析ネットワーク）：区東北部
4. **精神科病院**の支援（災害時精神科医療、DPAT）：北多摩北部
5. **基礎自治体**の本部支援（小児周産期、JRAT、歯科医師会等）：北多摩南部
6. **航空搬送調整**（自衛隊中央病院）：区西南部・北多摩西部
7. **福祉施設**への支援：区中央部・区東北部

## 多摩東部直下地震 (M6.8) の震度分布



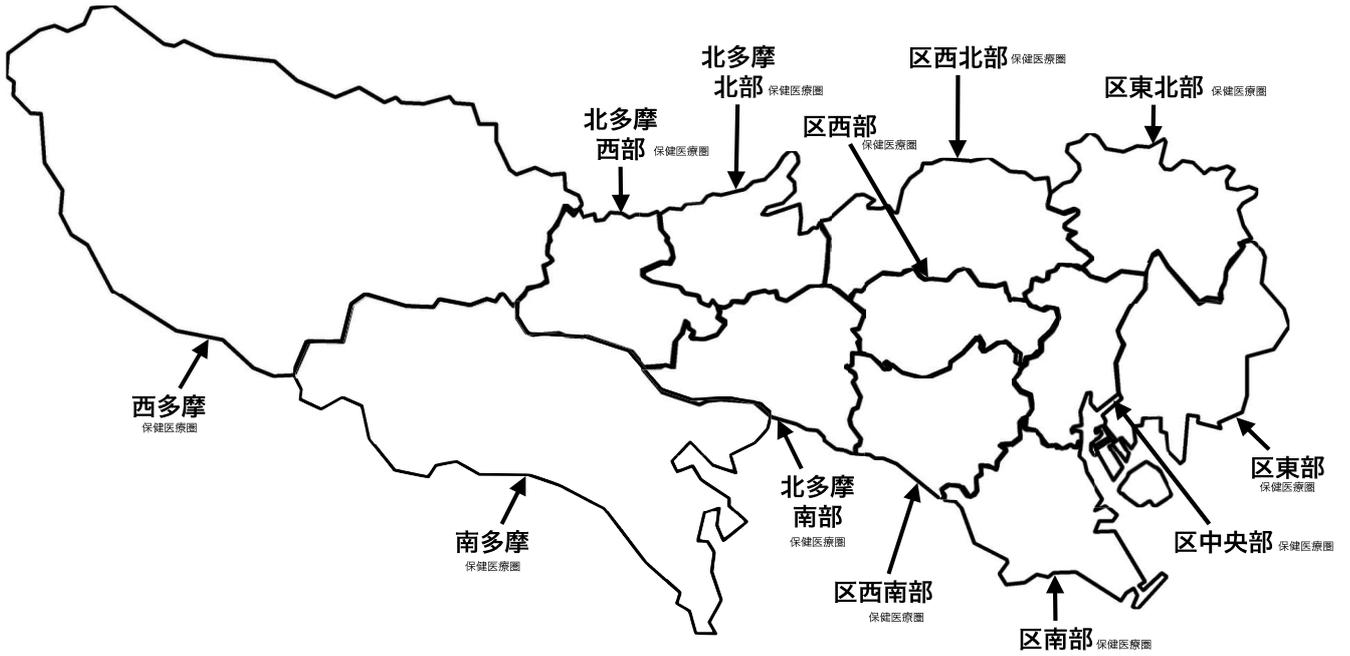
©HDMG2004 2025

## 多摩東部直下地震 (M6.8) の震度分布



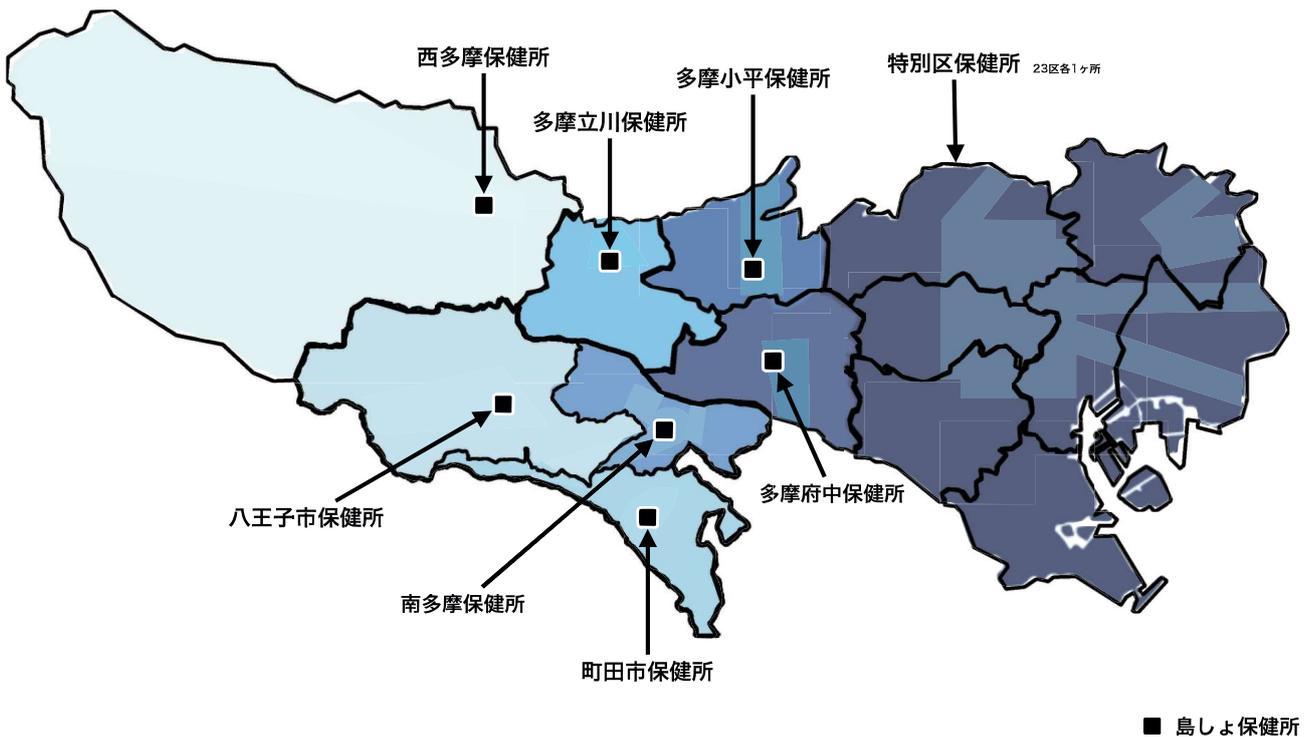
©HDMG2004 2025

# 東京都二次保健医療圏配置図



©HDMG2004 2025

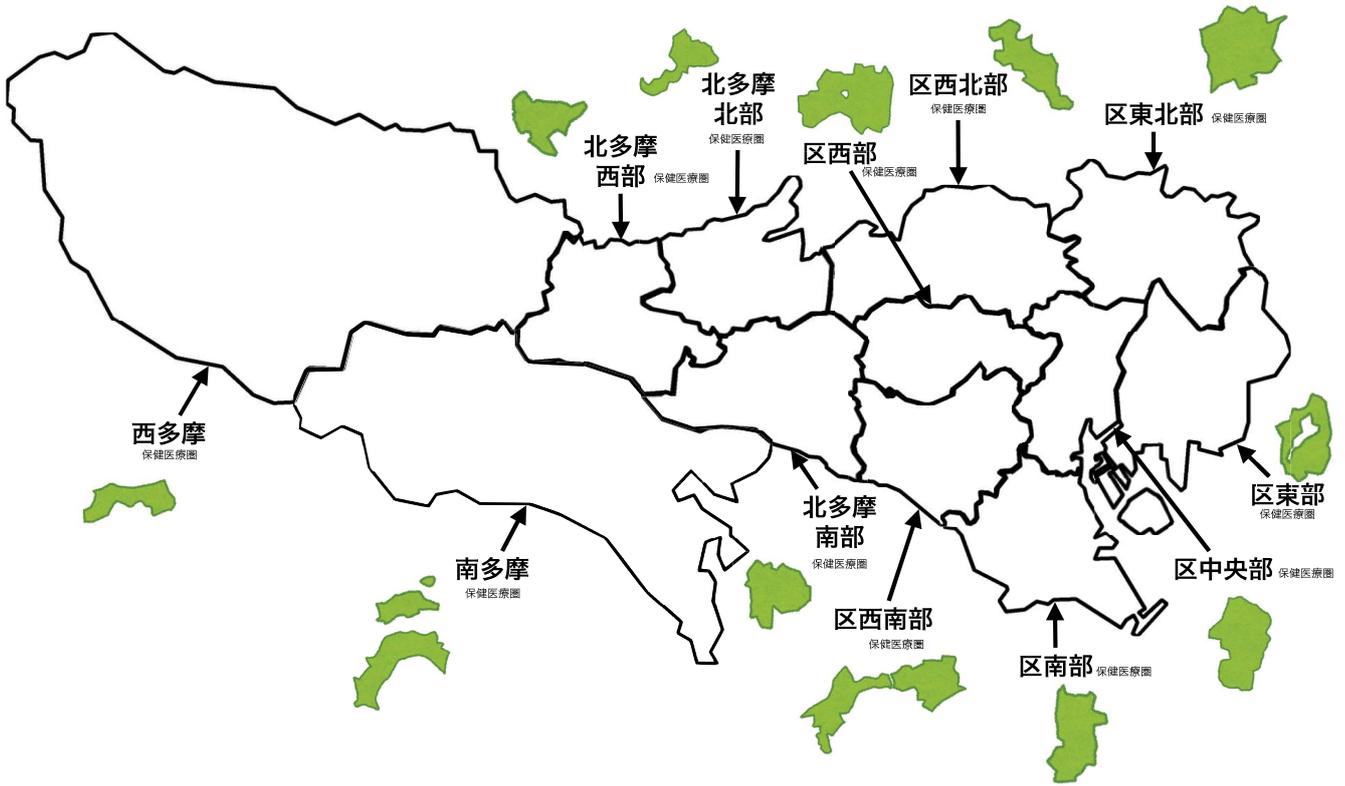
# 東京都保健所管轄図



東京都6ヶ所、特別区23ヶ所、市2ヶ所

©HDMG2004 2025

# 【参考】東京都の人口規模のイメージ



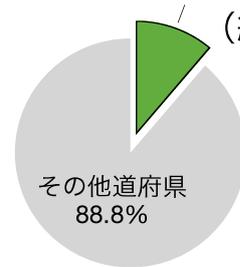
©HDMG2004 2025

## 【参考】東京都の人口規模

東京都の人口が全国に占める割合

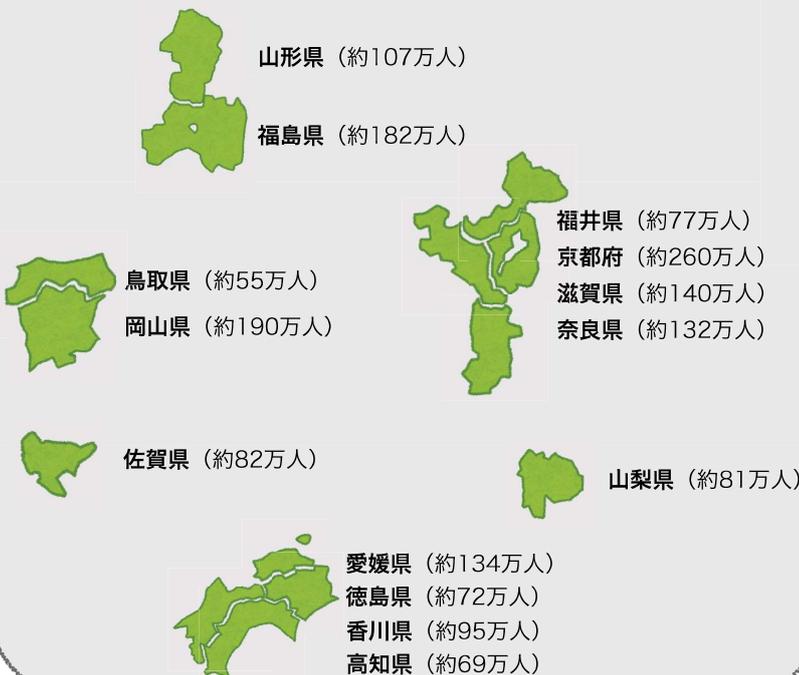
11.2%

(約1,400万人)



出典: 総務省統計データ (2023年推計)

14府県 (約1,676万人)



東京都 (約1,400万人)



流入人口 (約300万人)

©HDMG2004 2025

# 訓練概要 その2

## 本日の会議で共有中

実施手順：

### - フェーズ0 (発災後24時間まで)

1. 各圏域の「受援」「支援」「圏域籠城」をフローチャートに添って決定する
2. EMIS、DHCoSによる圏内の被災病院を把握し、上記3区分の維持・変更を検討する
3. 圏域内の交通事情・ライフライン事情を把握し、被害病院の支援順番を検討する

### - フェーズ1 (発災後72時間まで)

1. 参集DMATの隊数をEMIS上で把握する
2. 参集DMATを各二次医療圏のJOINグループに登録して、動態管理を行う
3. 決定している被害病院の支援順番に沿って、参集DMATを派遣する
  - 派遣先の病院には事前に被災想定と情報提供の手引きを送付
  - 当日入院中の患者を例にして被災状況を現実的にDMATへ説明
  - 「現状分析」手法に従って現状分析と籠城を可能にする支援計画の立案
  - 医療対策拠点へ支援計画の提出
4. 派遣DMATから提出された現状分析・支援計画を分析評価し、医療圏内の活動方針を調整する
  - 「活動指揮所の設置」「次の病院へ転進」「対策拠点へ帰還」のいずれかを派遣DMATに指示
5. 「受援」「支援」「圏域籠城」の3区分の維持・変更を検討し、共有する

©HDMG2004 2025

予測時系列表 フェーズ0 (1/30)

日時	フェーズ	医療対策拠点 (含 活動拠点本部)	病院 (災害拠点病院等)	医療チーム (DMAT等)
1月30日 11:00	地震発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療対策拠点本部設置 (DMAT活動拠点を内包)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (病院災害対策本部設置) 省略可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参集準備開始</li> </ul>
11:00-12:30	フェーズ0 初動判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大震度確認</li> <li>・ フローチャートで「受援」「支援」「籠城」判断</li> <li>・ 医療対策拠点・拠点病院機能確認</li> <li>・ 隣接圏域状況評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (患者・職員安全確認) 省略可</li> <li>・ (院内被害状況把握) 省略可</li> <li>・ EMISへ初期情報入力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属機関での情報収集</li> <li>・ 参集可否判断</li> <li>・ 装備品準備</li> </ul>
12:30-14:00	情報収集と方針見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMIS・DHCoSで被災病院把握</li> <li>・ 3区分の維持・変更検討</li> <li>・ 交通・ライフライン状況把握</li> <li>・ 被害病院支援順番決定</li> <li>・ DMAT要請数の検討・都へ要請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMISへ詳細情報入力</li> <li>・ (圏域内被害状況確認) 省略可</li> <li>・ (他施設の代行人力) 省略可</li> <li>・ (衛星通信確立) 省略可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMISでの情報収集</li> <li>・ 参集ルート確認</li> <li>・ 所属機関との調整</li> </ul>
14:00-15:00	会議準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害状況サマリー作成</li> <li>・ 受援/支援/籠城の方針整理</li> <li>・ 医療需給バランス評価</li> <li>・ DHCoSに基づく「支援リスト」作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (支援要請内容の整理) 省略可</li> <li>・ (受入可能性の評価) 省略可</li> <li>・ (翌日の対応体制検討) 省略可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要資器材確認</li> </ul>
15:00-15:30	第1回保健医療福祉調整本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害状況と方針報告</li> <li>・ 都本部からDMAT配分方針受領</li> <li>・ 他医療圏との情報共有</li> <li>・ 広域調整事項の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (会議には直接参加しないので省略可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (会議には直接参加しないが待機)</li> </ul>
15:30-翌8:00	訓練中断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMIS監視継続</li> <li>・ 受入準備</li> <li>・ 翌日の最終確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (EMIS監視継続) 省略可</li> <li>・ (受入準備) 省略可</li> <li>・ (翌日の最終確認) 省略可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EMISでの情報収集</li> <li>・ 参集ルートの最終確認</li> <li>・ 出発準備完了</li> </ul>

©HDMG2004 2025

必須行動の時系列表 フェーズ1 (1/31-2/1)

日時	フェーズ	医療対策拠点 (含 活動拠点本部)	病院 (災害拠点病院等)	医療チーム (DMAT等)
1月31日 8:00	フェーズ1 訓練再開	実動訓練開始		実動訓練開始
8:00-9:00	DMAT受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>参集DMAT隊数をEMISで把握</li> <li>JOINで情報共有</li> <li>参集DMATをJOINグループ登録</li> <li>動態管理開始</li> <li>ブリーフィング実施</li> </ul>		参集開始
9:00-10:00	第3回保健医療福祉調整本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>進捗状況報告</li> <li>DMAT配置状況共有</li> <li>課題の報告</li> <li>方針調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>DMAT受入準備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災状況説明準備</li> <li>患者情報整理</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>医療対策拠点へ参集</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>JOINグループ登録</li> <li>ブリーフィング受講</li> <li>派遣先確認</li> <li>活動内容確認</li> </ul> </li> </ul>
10:00-14:00	DMAT派遣と病院支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣計画に沿ってDMAT派遣</li> <li>DMATから現状分析受領</li> <li>支援計画の分析評価</li> <li>医療圏内活動方針調整</li> <li>DMATへ指示 (設置/転進/帰還)</li> <li>受援/支援/籠城の継続の見直し</li> <li>都本部との連絡調整</li> <li>搬送調整</li> <li>物資支援</li> <li>透析・DPAT等特定課題対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>DMATへ被災状況説明</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者例示</li> <li>病院内の案内・説明</li> <li>現状分析への協力</li> <li>支援計画立案への情報提供</li> </ul> </li> <li><b>継続的EMIS入力</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下は必要時 (医療対策拠点との連絡調整) (活動指揮所設置対応) (支援受入と調整)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣先病院へ移動</li> <li>被災状況説明受領</li> <li>現状分析実施 (建物/ライフライン/医療機能/患者/スタッフ/物資)</li> <li>支援計画立案</li> <li>対策拠点へ支援計画提出</li> <li>指示に基づく行動</li> <li>JOIN・EMIS適時更新</li> <li>継続的状況報告</li> </ul>
14:00-15:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練成果報告</li> <li>課題抽出</li> <li>訓練報告作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>訓練成果整理</b></li> <li><b>受援課題の報告提出</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>活動報告作成</b></li> <li><b>訓練報告提出</b></li> </ul>
15:00-16:00	第4回会議・訓練終了			
2月1日 10:00-12:00	訓練事後検証会	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練検証参加・課題共有</li> </ul>	なし	各所属でZoom 視聴

©HDMG2004 2025

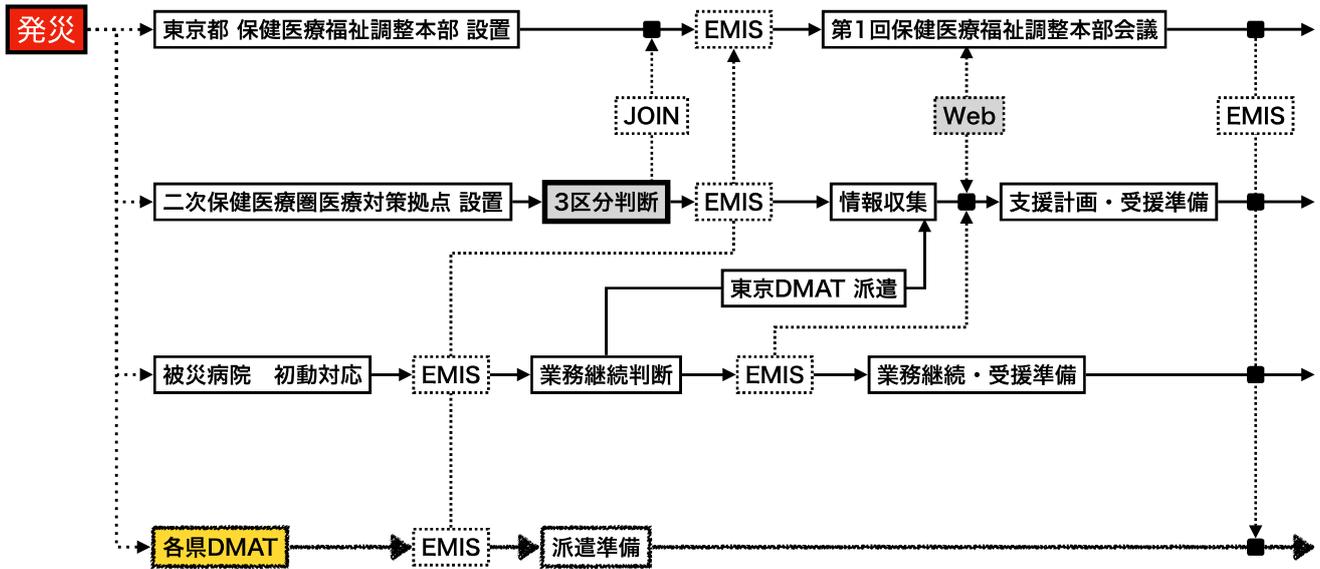
特定課題別 追加手順表

医療圏	特定課題	追加手順	連携機関
区東北部	透析医療継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>透析ネットワークとの情報共有</li> <li>透析可否判断</li> <li>透析患者搬送調整</li> <li>透析液・給水車配分調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>透析ネットワーク</li> <li>透析施設</li> <li>給水車</li> </ul>
北多摩北部	精神科病院支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>DPAT連携</li> <li>精神科患者搬送調整</li> <li>受入先 (松沢病院等) 調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DPAT</li> <li>精神科病院</li> </ul>
北多摩南部 調布市	要配慮者対策 (調布市災害対策本部支援)	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所医療ニーズ把握</li> <li>小児周産期対応</li> <li>多職種チーム派遣調整</li> <li>市・都・拠点の協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児周産期リエゾン</li> <li>歯科医師会</li> <li>JRAT</li> <li>日本赤十字社救護班 (含助産師)</li> <li>調布市 (災害対策本部)</li> </ul>
区西南部 北多摩西部	航空搬送調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>SCU設置運営</li> <li>ヘリ搬送調整</li> <li>空路DMAT投入</li> <li>搬送患者選定</li> <li>自衛隊・消防連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自衛隊中央病院</li> <li>消防</li> <li>自衛隊</li> <li>ドクターヘリ</li> </ul>
区中央部 区東部	施設支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉施設医療ニーズ把握</li> <li>DMAT派遣</li> <li>搬送要否判断</li> <li>継続支援体制構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉施設</li> </ul>

©HDMG2004 2025

# 予想される訓練時系列 (1月30日)

凡例 … 情報の流れ  
→ 活動

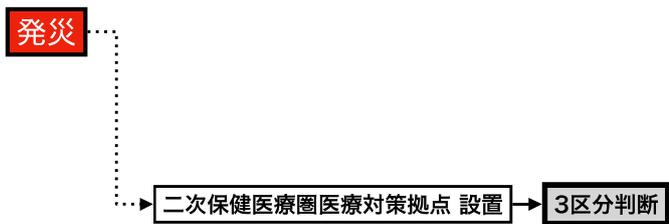


凡例 … 情報の流れ  
→ 活動

©HDMG2004 2025

## 3区分判断 各圏域の「受援」「支援」「圏域籠城」を決定する

定義：「受援：DMAT等受入れ・患者搬出」「支援：患者受入れ・DMAT等派遣」「圏域籠城：圏域内資源で対応」



©HDMG2004 2025

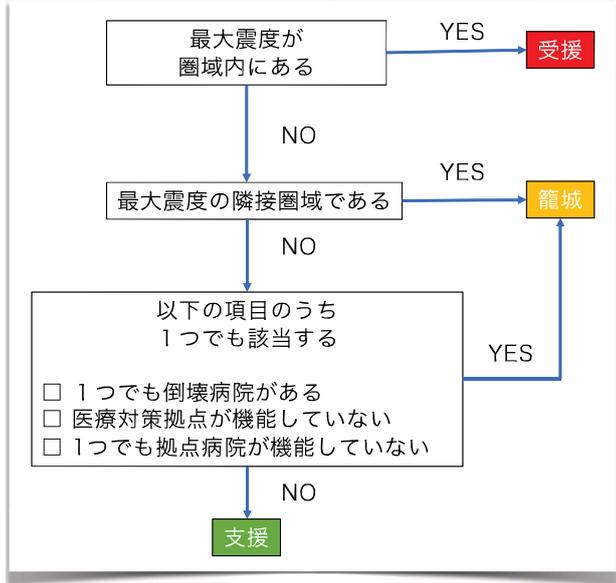
# 3区分判断

## 各圏域の「受援」「支援」「圏域籠城」を決定する

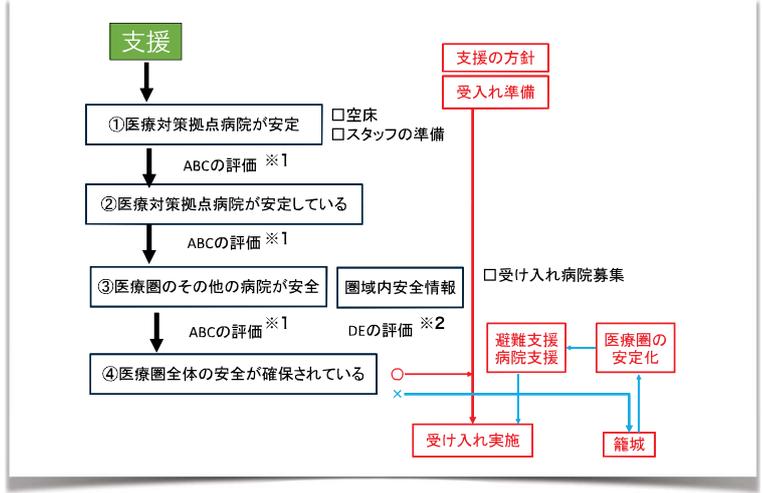
定義：「受援：DMAT等受入れ・患者搬出」「支援：患者受入れ・DMAT等派遣」「圏域籠城：圏域内資源で対応」

### 「フェーズ0：3区分判断フロー（試案）」

#### Step1:



#### Step2:

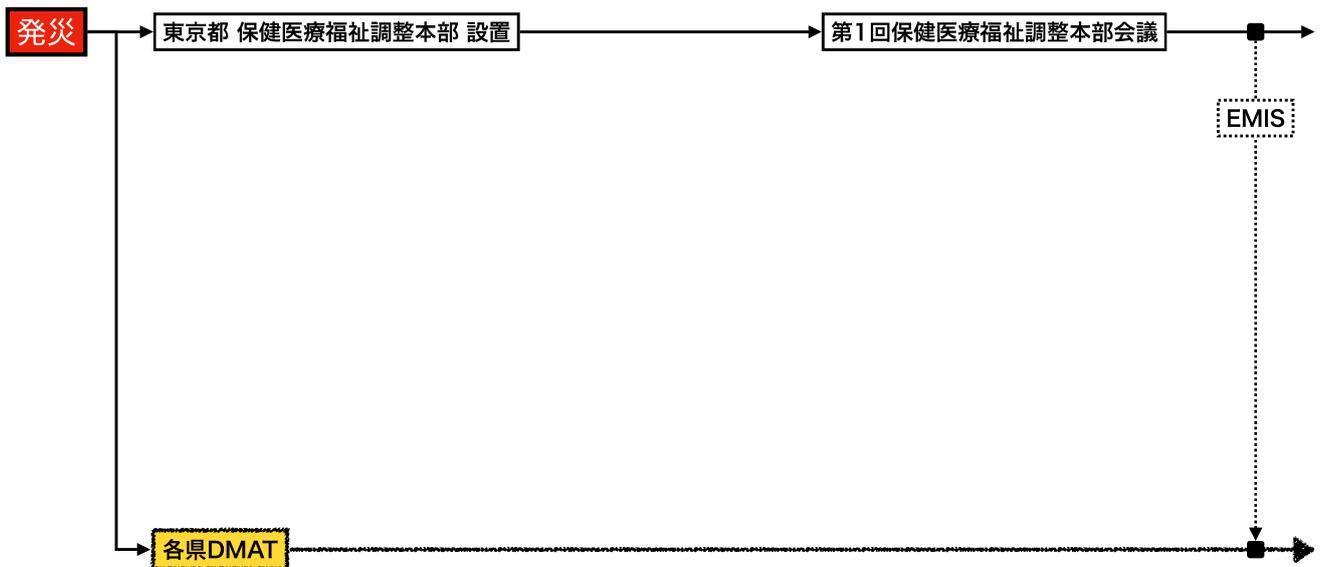


- ※1 受入れ病院がある  
A：インフラが整っている  
B：受入れ病床がある  
C：スタッフがたりている
- ※2 受入れ病院まで行ける  
D：到達経路がある（主要道路と「ラストワンマイル」）  
E：搬送手段・移動手段がある

©HDMG2004 2025

## 派遣・参集情報の提供

凡例 … 情報の流れ  
→ 活動



『東京都医療救護ガイドライン第3版』に基づいて運用します。

©HDMG2004 2025

# 災害時医療救護活動ガイドライン (第3版)

令和6年3月



本ガイドラインの内容は、訓練等により検証を行い、修正されます。  
あらかじめ、ご了承ください。

## 5 日本DMATの活動(関連P17-P18)

(根拠:日本DMAT活動要領など)

### (1) 日本DMATの特長

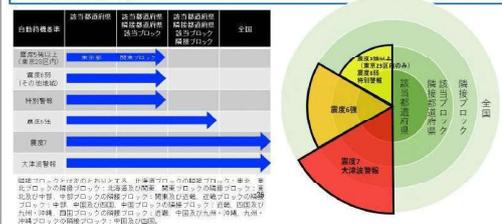
厚生労働省が定める日本DMAT活動要領には、日本DMATの自動待機基準が定められています。日本DMATは、原則として、東京都区部(23区)で震度5強以上の地震が発生した場合、又は市町村部(多摩地域)で震度6弱以上の地震が発生した場合に、被災の状況に関わらず、都や厚生労働省等からの要請を待たずに、派遣のための待機を行います。  
なお、島しょ地域における対応は、第3節「4 山間部・島しょ地域」(P96)によります。

#### 【注:支援が必要な災害拠点病院の場合】

日本DMATなどの医療チームを受け入れる体制を速やかに確立することとし、都から要請があるまでは、編成・待機を行いません。

#### 【参考資料】DMAT自動待機基準について

次の場合には、該当するDMAT指定医療機関は、被災の状況にかかわらず、都道府県、厚生労働省等からの要請を待たずに、DMAT派遣のための待機を行う。下記の基準について、以下「DMAT自動待機基準」という。  
① 震度6弱以上の地震が発生した場合、その被災の程度が震度6弱の程度が発生した場合、特別要請が発出された場合  
→該当する都道府県並びに該当する都道府県に隣接する都道府県及び該当する都道府県が属する地方ブロック管内のDMAT指定医療機関  
② 震度6強の地震が発生した場合  
→該当する都道府県並びに該当する都道府県に隣接する都道府県、該当する都道府県が属する地方ブロック及び該当する都道府県が属する地方ブロックに隣接する地方ブロック内のDMAT指定医療機関  
③ 震度7の地震が発生した場合、大津波警報が発令された場合  
→全国のDMAT指定医療機関



※ 日本DMAT活動要領から抜粋

### (2) 都内DMATの派遣要請

都は、災害拠点病院に対して、都内DMATの派遣を要請します。  
要請手続きは、「4 都医療救護班等」の派遣(P76)を準用します。

### (4) 陸路による参集

陸路により参集する他県DMATは、原則として、医療対策拠点(DMAT活動拠点本部)に参集します。

#### ア 参集拠点を指定できない場合(自動参集一區部)

大規模地震により東京都区部(23区)に甚大な被害が発生した場合、高速道路のサービスエリア等に参集拠点が設置されるまでは、下表により、医療対策拠点に直接参集します。

【表3-2: 参集経路別の参集拠点(区部参集の場合)】

想定される主な参集経路*	医療対策拠点
1 東北自動車道→首都高川口線→中央環状線(C2) 滝野川R <sup>2</sup> ・国道4号(日光街道)	日本医科大学付属病院(文京区千駄木1-1-5)
2 首都高羽田線 田原R <sup>2</sup> ・首都高湾岸線・国道15号(第一京浜)・国道1号(第二京浜)	東京大学医療センター大森病院(大田区大森西6-11-1)
3 東名高速道路→首都高3号渋谷線渋谷R <sup>2</sup> ・国道246号	東京都立広尾病院(渋谷区恵比寿2-34-10)
4 中央自動車道→首都高4号新宿線新宿R <sup>2</sup> ・国道20号(甲州街道)	東京医科大学病院(新宿区西新宿6-7-1)
5 関越自動車道→首都高5号池袋線板橋本町R <sup>2</sup> ・国道17号(中山道)	帝京大学医学部附属病院(板橋区加賀2-11-1)
6 南武自動車道→首都高6号三郷線加平R <sup>2</sup> ・国道4号(日光街道)・国道6号(水戸街道)	東京女子医科大学附属立見医療センター(足立区江北4-33-1)
7 京葉道路錦糸町R <sup>2</sup> ・東関東自動車道・国道14号(千葉街道)	東京都立墨東病院(墨田区江東橋4-23-15)

\*災害時には、主要道路の通行の可否を必ず確認してください。  
\*各参集拠点の最寄ランプ(首都高出入口)です。

【図17-1: 参集経路別の参集場所(区部参集の場合)】



### イ 参集拠点を指定できない場合(自動参集一多摩地域)

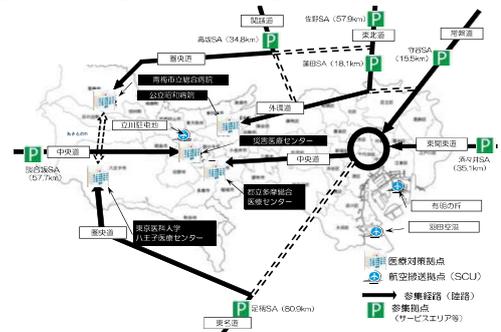
大規模地震により東京都多摩地域に甚大な被害が発生した場合、高速道路のサービスエリア等に参集拠点が設置されるまでは、下表により、医療対策拠点に直接参集します。

【表3-3: 参集経路別の参集拠点(多摩地域参集の場合)】

想定される主な参集経路*	医療対策拠点
1 関越自動車道→圏央道→青梅IC	市立青梅総合医療センター(青梅市東青梅4-16-5)
2 東名高速道路→圏央道→高尾山IC	東京医科大学八王子医療センター(八王子市館町1163)
3 中央自動車道(上り)→国立府中IC	災害医療センター(立川市緑町3256)
4 首都高速→中央自動車道(下り)→国立府中IC	東京都立多摩総合医療センター(府中市武蔵台2-8-29)
5 東北自動車道→外環道→大泉IC	公立昭和病院(小平市花小金井8-1-1)

\*災害時には、主要道路の通行の可否を必ず確認してください。

【図17-2: 参集経路別の参集拠点(多摩地域参集の場合)】



### ウ 参集拠点で都内の医療対策拠点を指示できる場合(指定参集)

高速道路のサービスエリア等に参集拠点が設置されている場合、都は、厚生労働省DMAT事務局を通じて、他県DMATに対して、最終的な参集場所(医療対策拠点)を公表します。

**イ 参集拠点を指定できない場合(自動参集-多摩地域)**

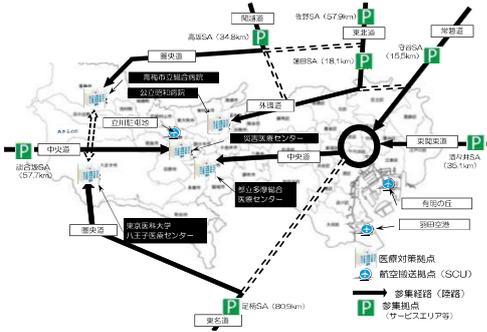
大規模地震により東京都多摩地域に甚大な被害が発生した場合、高速道路のサービスエリア等に参集拠点が設置されるまでは、下表により、医療対策拠点に直接参集します。

[表 3-3 : 参集経路別の参集拠点 (多摩地域参集の場合)]

想定される主な参集経路 <sup>※1</sup>	医療対策拠点
1 関越自動車道→圏央道→青梅1IC	市立青梅総合医療センター (青梅市東青梅4-16-5)
2 東名高速道路→圏央道→高尾山1IC	東京医科大学八王子医療センター (八王子市船町1163)
3 中央自動車道(上り)→国立府中1IC	災害医療センター (立川市緑町3256)
4 首都高→中央自動車道(下り)→国立府中1IC	東京都立多摩総合医療センター (府中市武蔵台2-8-29) 公立昭和病院 (小平市花小金井8-1-1)
5 東北自動車道→外環道→大泉1IC	

<sup>※</sup>災害時には、主要道路の通行の可否を必ず確認してください。

[図 17-2 : 参集経路別の参集拠点 (多摩地域参集の場合)]



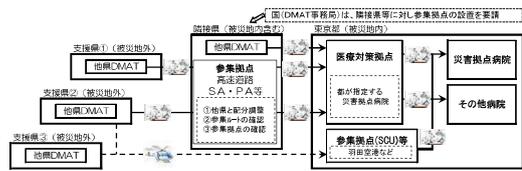
**ウ 参集拠点で都内の医療対策拠点を指示できる場合(指定参集)**

高速道路のサービスエリア等に参集拠点が設置されている場合、都は、厚生労働省DMAT事務局を通じて、他県DMATに対して、最終的な参集場所(医療対策拠点)を公表します。

**(5) 空路による参集(航空機参集)**

都は、東京国際空港(羽田空港)、有明の丘広域防災拠点、立川駐屯地などを候補地として、空路による参集拠点を指定します。

[図 18 : 指定参集・航空機参集の流れ]



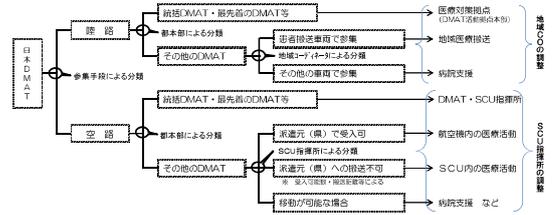
区分	想定される支援拠・ブロック	想定される主な参集方法
①隣接県	千葉・埼玉・神奈川	自動参集
②支援拠1	茨城・栃木・群馬(前記を除く各ブロック)	自動参集 又は、指定参集
③支援拠2	東北・中部・近畿・中国・四国の各ブロック	指定参集 又は、航空機参集
④支援拠3	北海道・九州沖縄の各ブロック	主に、航空機参集

<sup>※</sup> 隣接県が被災になる場合は、支援拠に含みません。

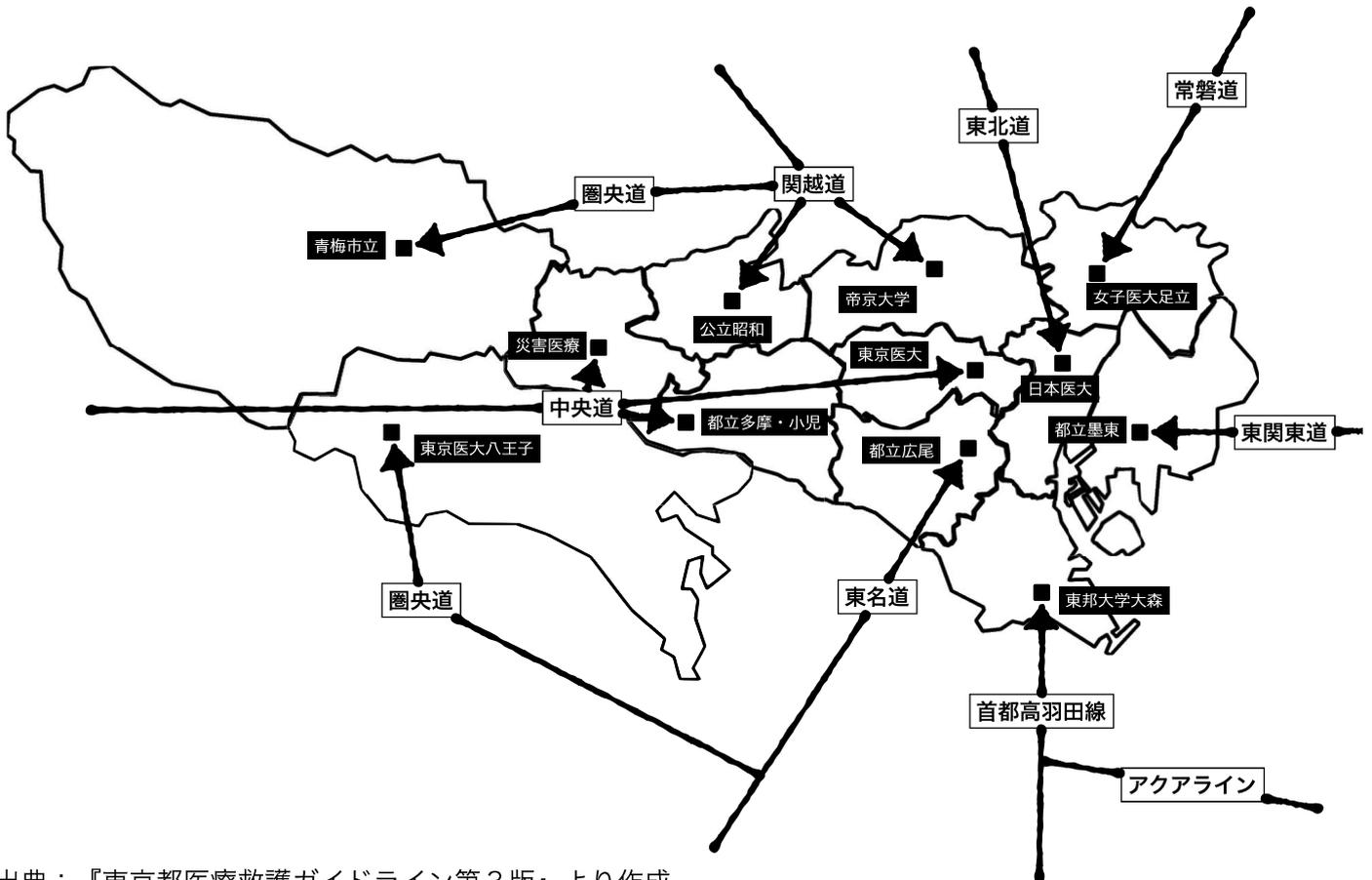
**(6) 活動方針(都の基本方針)**

都内で活動する日本DMATは、主に、本部活動支援、地域医療搬送、病院支援などを行います。

[図 19 : 参集方法別の活動方針(案<sup>※</sup>)] <sup>※</sup>状況により異なります

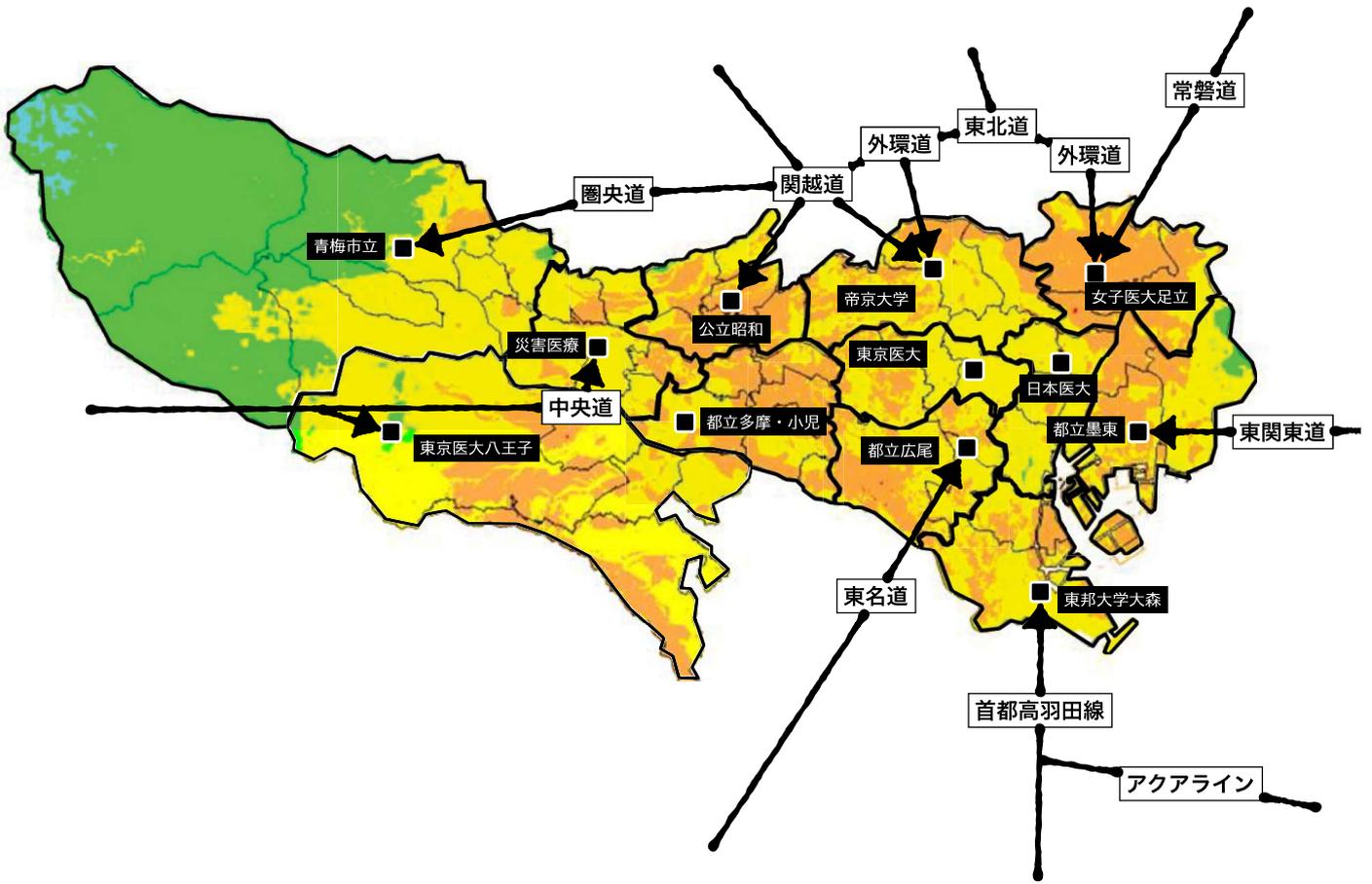


# 参集経路別の参集拠点



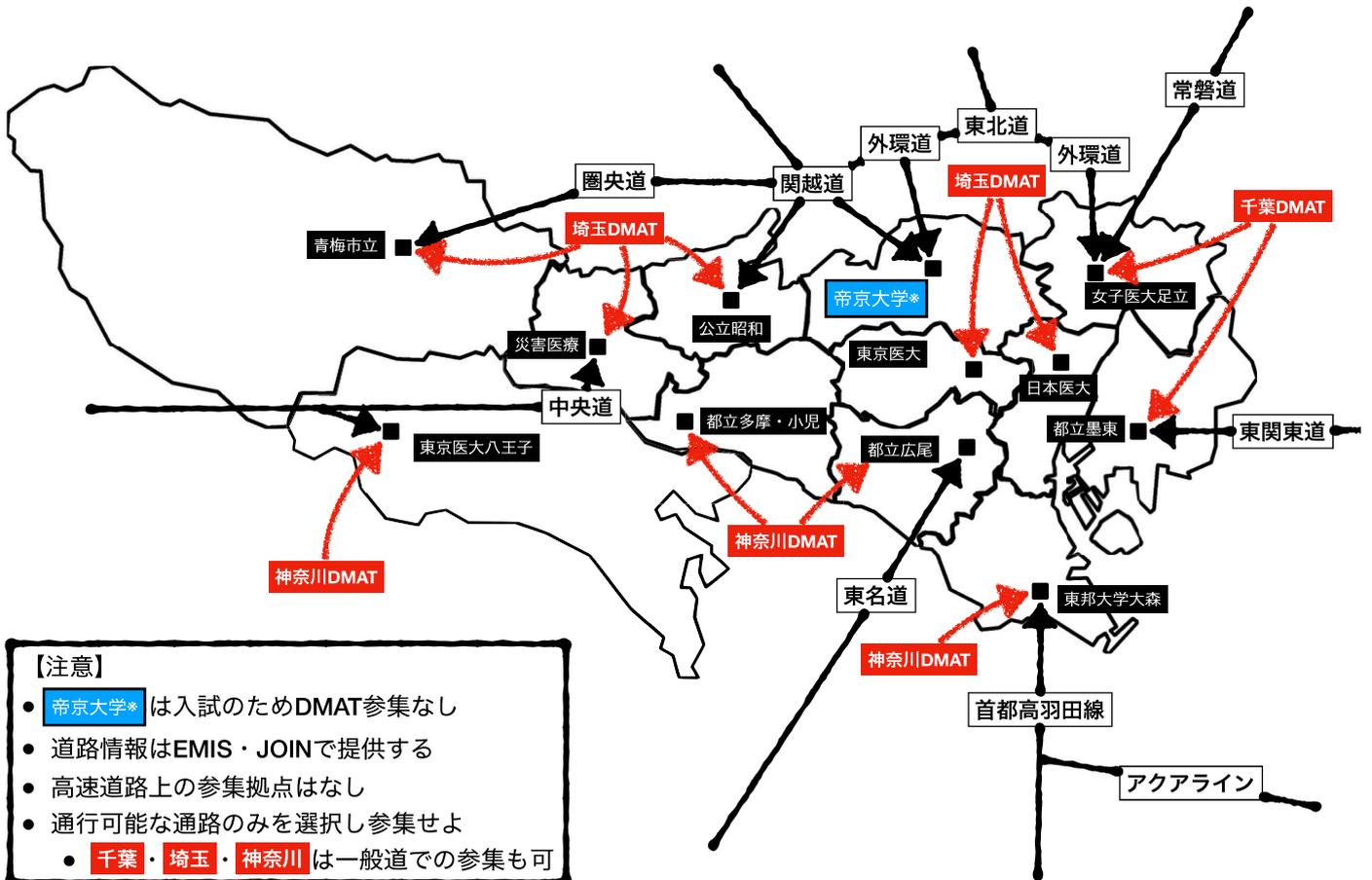
出典：『東京都医療救護ガイドライン第3版』より作成

# 多摩東部直下地震における参集経路・拠点の可能性



©HDMG2004 2025

## 1月31日の参集経路別の参集拠点の考え方

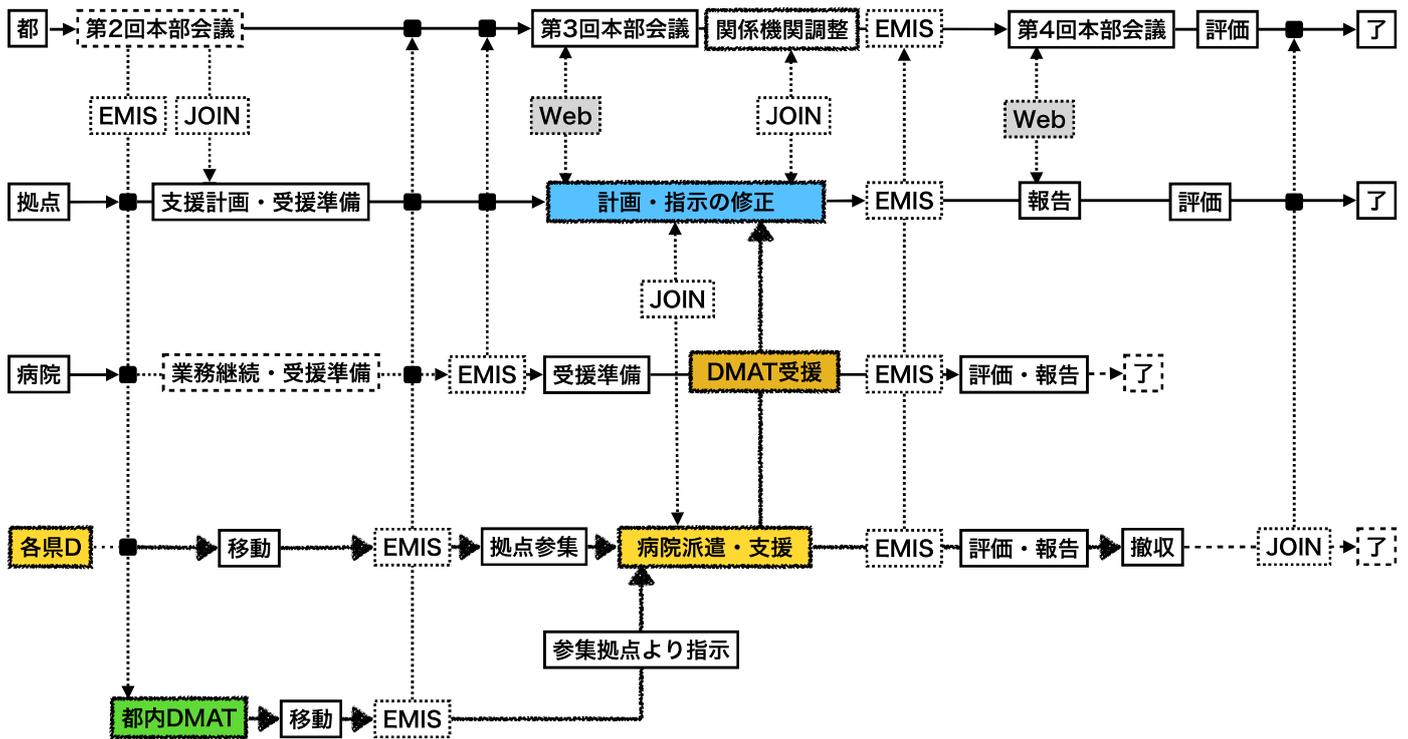


- 【注意】**
- 帝京大学\* は入試のためDMAT参集なし
  - 道路情報はEMIS・JOINで提供する
  - 高速道路上の参集拠点はなし
  - 通行可能な通路のみを選択し参集せよ
    - 千葉・埼玉・神奈川 は一般道での参集も可

©HDMG2004 2025

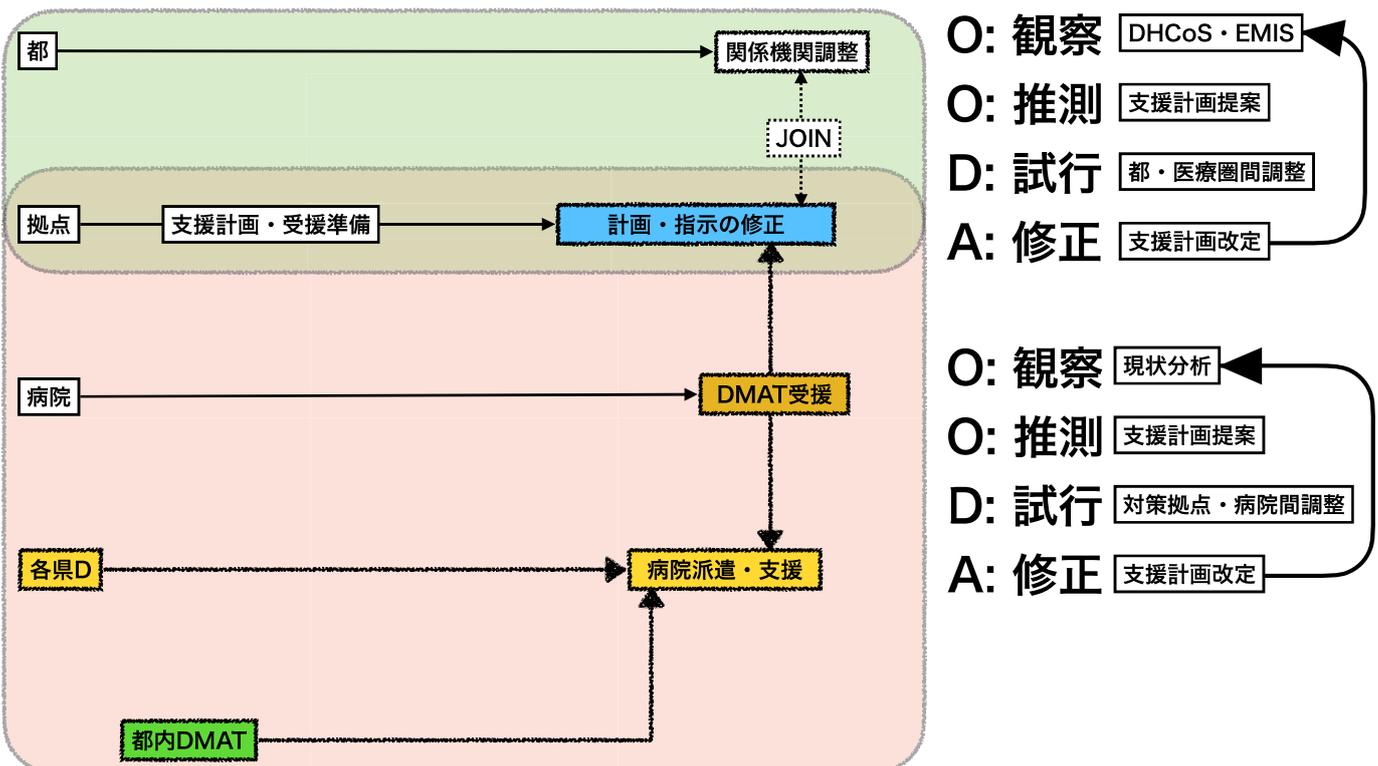
# 予想される訓練時系列 (1月31日)

凡例 … 情報の流れ  
→ 活動



©HDMG2004 2025

## OODA Loop で訓練を進める Observe, Orient, Decide, Act



二階層のLoopが相互に影響して、訓練が進む

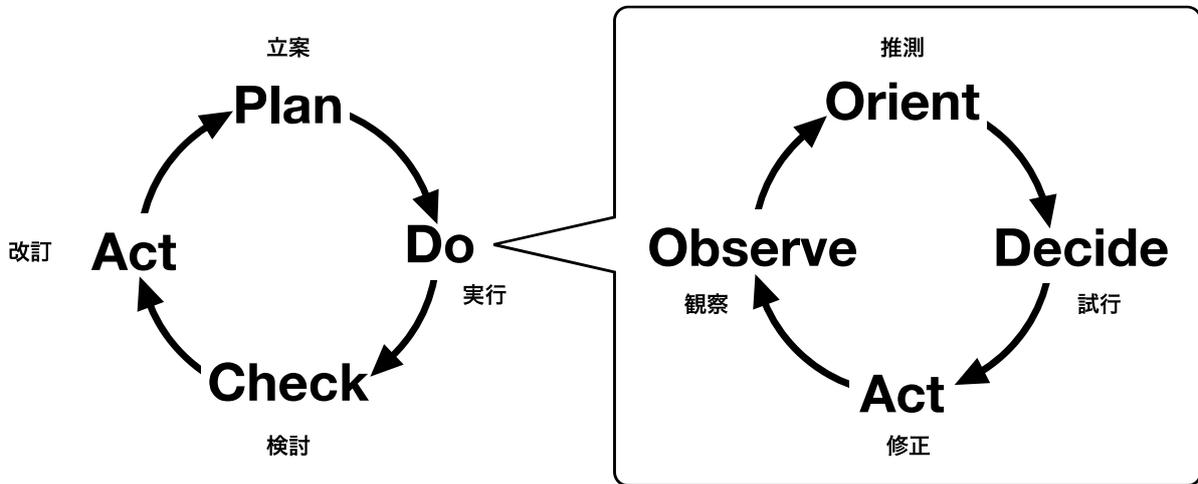
©HDMG2004 2025

## 【参考】

# PDCA cycle と OODA loop

## 【机上での計画策定】

## 【現場の対処実践】



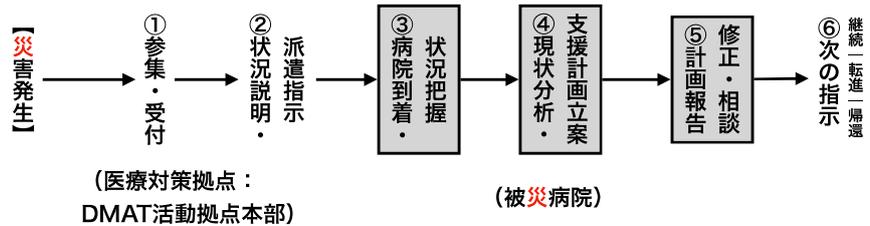
OODA Loop は臨床診断・治療の行程と同じ

PDCA cycle は『治療ガイドライン』の策定・改訂の如し

©HDMG2004 2025

## 令和7年度 関東ブロックDMAT訓練

### DMAT活動の全体像



### 訓練の価値の創造

真剣な現状分析・実効性ある支援提案・率直な報告が、DMAT・受援病院・医療対策拠点・東京都の学びを最大化します。形だけの訓練参加では、誰の成長にもつながりません

### 訓練の本質

- ・ **最重要目標:** DMATが不完全情報下で病院を評価し、実効性のある支援計画を立案できること
- ・ **下位目標:** 参集・本部運営・情報共有システムの運用（これらは現場活動を支える舞台装置）

### 全員が学びを得られる訓練へ

- ・ **DMAT:** 実践的な病院支援能力の獲得
- ・ **受援病院:** 被災時の業務継続能力の向上
- ・ **医療対策拠点:** 圏域全体の調整能力の獲得

### 訓練を支えてくださる方々への感謝

DMAT同士の相互訓練の枠を超えて、多くの方々が、DMATの現場活動能力向上のために協力してくださっています：

- ・ **受援病院:** 被災状況を説明し、DMATの評価を受け入れる
- ・ **医療対策拠点の運営チーム:** 情報集約と派遣調整を担当
- ・ **東京都本部:** 全体調整と情報提供を実施

©HDMG2004 2025

# 被災病院役（受け手病院）

## あなたの立ち位置

- ・**役割:** 実災害を想定したリアルな情報提供者
- ・**従来との違い:** 統制側から逐次付与 → 自院の実情に基づいて説明
- ・**ゴール:** DMATが現状分析・支援計画を立案できる情報を提供すること

1/3

©HDMG2004 2026

# 被災病院役（受け手病院）

## 準備と実施事項

### 事前準備（1月29日までに）

- ・訓練想定付与文書の内容確認
- ・DMAT作業スペース・駐車場1台の確保
- ・情報提供担当者の選定（1～数名）
- ・院内配置図の準備

### 1月30日対応（11:00以降）

- ・EMIS訓練モード入力（発災直後想定）

### 1月31日対応（10:00-15:00）

- ・EMIS訓練モード入力（9時時点）
- ・DMAT到着後の情報提供：
  1. 建物・ライフライン被害、スタッフ状況
  2. 入院患者数・重症度分布・特殊患者
  3. 医療資器材・医薬品の状況
  4. 支援要請内容（優先順位明確に）

2/3

©HDMG2004 2026

# 被災病院役（受け手病院）

## タイムライン

- 10:00～: 医療対策拠点から派遣されたDMATが来院
  - 到着後: 被災状況説明
  - 説明後: DMAT現状分析・院内調査への協力
- 15:00: 活動終了

※来院時刻は遅れる可能性あり、撤収は15時以前になることもあります

3/3

©HDMG2004 2026

## DMAT

### 訓練全体像とあなたの役割

- **想定:** 多摩東部直下M6.8、翌朝9時に医療対策拠点に参集
- **あなたの役割:** 被災病院の現状分析→支援計画立案→医療対策拠点へ報告
- **重要な視点:** 不完全情報下での判断・OODAループの実践

1/3

©HDMG2004 2026

15

# DMAT

## 活動の流れ

### 事前準備（1月29日までに）

- ・『東京都オリエンテーションブック』（今後提供予定）の内容確認
- ・JOIN登録：施設名 職種 氏名
- ・「現状分析」シート等の準備

### 1月30日対応（15:00 以降）

- ・EMIS掲示板で『東京都の方針』の確認
- ・EMIS入力（参集先の選定）

#### 【参集先の選定方針】

- ・自施設から最寄りの医療対策拠点（DMAT活動拠点本部）に参集
- ・安全かつ通行可能な高速道路・国道を通行（『東京都の方針』にて情報提供）

### 1月31日対応

- ・EMIS掲示板で『東京都の方針』の更新を確認
- ・EMIS入力（参集先の決定）
- ・**9:00-10:00** 医療対策拠点参集・ブリーフィング
  - ・JOINグループ登録
  - ・圏域被災状況説明を受領
  - ・派遣先医療機関等の指示
- ・**10:00-15:00** 派遣・調査・報告
  - ・派遣先医療機関等に移動
  - ・被災状況ヒアリング（建物、人員、患者、資器材）
  - ・現状分析・支援計画立案
  - ・医療対策拠点に報告・待機
  - ・次の指示（活動継続/転進/帰還）

2/3

©HDMG2004 2026

# DMAT

## 重要ポイント

### 情報ツール

- ・ **EMIS**: 事前に操作確認
- ・ **JOIN**: 医療対策拠点との情報共有・動態管理
- ・ **通信環境準備**（WiFiルーター等）

### 現場での心構え

- ・ 被災病院から得られる情報は断片的・不完全
- ・ 「完全な情報を待つ」のではなく「今ある情報で判断」
- ・ 支援計画は仮説→検証のプロセス
- ・ 医療対策拠点への報告内容: 現状/支援案/必要リソース/懸念事項

3/3

©HDMG2004 2026

# 注意！！

- 「EMISの入力100%を目指す訓練ではない」  
情報がなくても判断する訓練ですので、電話をかける等の行動は不要です。
- 「医療圏同士で搬送調整する」  
東京都のガイドラインでは、医療圏間で調整します。不可能であれば上位の「東京都」に要請します。「関東ブロック訓練」では、要請を適切なルートで上げることができるかを試します。
- 「物資支援のフローを確認する」  
東京都の災害対策本部の調整範囲ですので、「関東ブロック訓練」では、要請を適切なルートで上げることができるかを試します。

©HDMG2004 2025

## この訓練だからこそ得られる3つのこと

### 1. 「判断が間違っていた」に向き合う

→ 「実災害前の失敗」ができる唯一の機会

### 2. DMAT受援を通じた課題を見つける

→ 「外部からの提案」へ対応力を測る絶好の機会

### 3. 事前計画の脆さを知る

→ 「脆さ」を臨機応変で乗り越える貴重な機会